

組織現勢 (4月1日現在)

組合員数 19,264 世帯
 出資口数 88,377 口
 3月の新規加入 126 世帯
 3月の増資口数 337 口

No. 359 再生紙を使用しています。



発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

2012年度 仲間増やし 年間目標達成!

2012年度は、700世帯を目標にとりくんできました。10月1日〜12月28日までを「仲間増やし月間」とし、地域訪問や各支部の青空健康相談会などで加入を訴えてきました。月間終了時点での新加入組合員は532世帯。目標達成まであと168世帯というところまでできました。

これまでもなかなか達成できなかったが、今年度はなんと

してもやりきろうと、年度末目標達成月間を設定しました。その結果、3月29日(金)に700世帯の仲間増やし目標を達成することができました。皆さんの奮闘に感謝を申し上げます。ますます城南三法人の共同の営みを広げていきましょう。

仲間増やしでは、毎回支部ごとに年間目標を設定しています。今年度は、大田・品川にある15支部のうち、9支部が年間

目標を達成しました。達成に至らなかった支部も、あと一息というところまで仲間が増えました。

達成した支部は、豊支部／大井支部／五反田・小山支部／六郷支部／羽田・萩中支部／蒲田西支部／馬込・山王支部／中央・池上支部／大森・糀谷支部です。皆さん、本当にお疲れさまでした。



城南保健生協「よろず相談コーナー」(無料)
 本日の担当は 前澤 淑子です。
 城南保健生活協同組合事務局長 東京社協事務局長 医師、介護問題、年金、保険、教育、労働問題のトラブル、労働争議、交通事故、

今年1月からは、東京南法律事務所との弁護士が月2回相談に入っており、さらに充実した内容になっています。私たちが相談員が受けた相談で、弁護士に相談したいと思えるものを紹介して解決につなげていきます。1回の相談で終わらない場合は、継続して相談のりま

「よろず(なんでも)相談」
 月曜～金曜の10時～12時
 大森中診療所1階(無料)
 弁護士への相談は月2回
 《無料》
 第1水曜日 13時～15時
 第3土曜日 10時～12時
 *できるだけ電話予約をお願いします(6404-2301 大森中診療所まで)。



大森中診療所の一角に「よろずなんでも相談」というコーナーがあるのを存じですか? ここでは、月曜～金曜日の午前10時から12時まで相談を受けています。相談を受けるのは、月・小関直彦元区議会議員、火・前沢淑子、水・村松茂生協常務理事、木・色部祐生協常務理事・社会保険労務士、金・大田病院医療相談室・介護保険室の専門家集団です。城南保健生協・城南福祉医療協会

生活協同組合事務局長 前沢 淑子
 が協力して相談員を配置しています。相談内容は、医療や介護のことを中心ですが、「よろず」の名のおり何でもありです。離婚問題や遺産相続、お墓のこと、大家さんとのトラブルや騒音問題などが多いです。相談員は、自らの知識と「生活と健康を守る会」や民商、税理士など専門家に力を借りて対応しています。

最近、生きづらい世の中を反映しているのか、深刻な相談が寄せられます。76歳の女性は、「もう死にたい。右眼がみえない。頭も体もフラフラ、やっとな歩いてきた。家の中はゴミだらけ。近所にも知り合いはいないし、時々ものを忘れるしどうしたらいいかわからない」と私の前に座りました。食事もつけない、スーパーのお惣菜とアルコールで栄養とカロリーを摂っているとのこと、腕には傷が

ありました。「介護保険の申請を」とすめたのですが、お金がなくて受診ができないとのこと。受付に患者として通院歴がないか問い合わせたところ、息子さんが生活保護の申請をしていたことがわかり、福祉事務所に電話をして生活保護での医療券の発行を取り付けてくれました。「お金は心配しなくていいから」と内科の待合室にいつしよに行きました。

受診待ちの間も1人であるのは心配と、「さわやかサポート大森東(大田病院に併設)」に相談しました。持参された袋の中に、地域包括支援センターが一人暮らしの方を訪問した際

「介護保険の申請を」とすめたのですが、お金がなくて受診ができないとのこと。受付に患者として通院歴がないか問い合わせたところ、息子さんが生活保護の申請をしていたことがわかり、福祉事務所に電話をして生活保護での医療券の発行を取り付けてくれました。「お金は心配しなくていいから」と内科の待合室にいつしよに行きました。

その女性は、内科受診が終わって私たちに「ありがとう」と涙を流されました。城南福祉医療協会との連携がこの女性に生きる希望を与えたのです。しかし、これからは見守りが必要で、城南保健生協が組合員さんとの連携をすすめることが私たちの課題です。

「第11回品川健康まつり」のご案内

健康チェック・医療相談・中央舞台の楽しい出し物・フリーマーケットなど…、今年も安心して喜ばせるまちづくりをめざして開催します!

日時 5月25日(土) 11:00～15:00
 会場 戸越公園



連絡先
 ゆたか診療所 3781-4723
 三ツ木診療所 3779-0031
 城南保健生協 3762-0266

協力医療機関への入職 おめでとうございます

今年の入職者は全体で31人。組合員のみなさんとは、医療現場や地域の班会、青空相談会などでお会いする機会もあると思います。あたたかいご指導をお願いいたします。



その女性は、内科受診が終わって私たちに「ありがとう」と涙を流されました。城南福祉医療協会との連携がこの女性に生きる希望を与えたのです。しかし、これからは見守りが必要で、城南保健生協が組合員さんとの連携をすすめることが私たちの課題です。

不在のため残したメモがあったからです。電話を受けた相談員は、「心配でしょう。その地域の担当者は不在ですが、私が仕事を片付けて付きます」と言ってくれました。そして、しばらくして駆け付けてくれ、付き添いをバトンタッチできました。本言にありがたかったです。

その女性は、内科受診が終わって私たちに「ありがとう」と涙を流されました。城南福祉医療協会との連携がこの女性に生きる希望を与えたのです。しかし、これからは見守りが必要で、城南保健生協が組合員さんとの連携をすすめることが私たちの課題です。

腹八分

暗く重い固まりが方々で蠢いています。それが人々に不安を与えています。「北朝鮮」という鎖國的な国の動向がマスコミに大きく取り上げられて、日本をはじめ近隣の国に脅威を増大させています。いま小生のあいだでも「北のミサイルや核が飛んできたら、どこへ逃げればよいか」こんな会話が重ねられています。▼国の閉塞感、不安の広がりに呼応して、軍事力を強化すべきの声が高まっています。北朝鮮の脅威と共に領土問題が、軍事力増強の勢力を勢いづかせています。しかし原子力発電に安全がなかったように、軍事力の強化で平和が維持できないことも歴史が示しています。「原発村」と呼ばれる原発で利益を得ようとしているさまざまな団体の集合によって推進されてきたように、軍事力強化のウラにも儲けをたくらむ勢力の影がちつときます。▼「38度線、そこをゆったり流れるイムジンガン。韓国側から眺めると川の向こうに北朝鮮が見える。建物が散在し、耕作地があり、その背後に低い山が連なっている。望遠鏡で覗いてみても、人や耕耘機の動く気配はなく、背後の山も韓国に比べて緑が不足している。そこには貧しいばかりではなく著しく自由も制限されている北の現実があった」こんな報告もあります。軍事力の強化は国民に負担を押しつけてくる。この歴史の哲理が北に当てはまります。▼北朝鮮、中国の脅威を理由に軍事力を強め憲法を変えようとしている勢力は、国民主権を国家主権に変えようとする勢力と重なります。